

キャベツの生産（生育）出荷見通しについて
（平成 20 年 11 月 4 日時点）

出荷団体名：JA あいち経済連

1. 生産（生育）状況

(1) 生産状況

ア. 作付状況

系統 2,275ha（前年比 104%）

豊橋、渥美の主力指定産地で増加。豊橋は、はくさいからキャベツへの転換がみられる。施設中心の農家もキャベツを栽培

冬と春の比率は 56 : 44 で前年と同じ。

イ. 作付時期

8 月上旬からは種が始まり、10/10 でほぼ定植も終了。

本年は集中的に降る雨の影響で、定植作業がやや遅れていたが晴れ間をぬって作業を行った。一時的に集中したが平年並みに定植は終了した。

(2) 生育状況

ア. 天候の推移

8 月下旬以降、集中的な降雨があった。気温は 9 月下旬に冷え込んだものの平年より高めで推移した。

イ. 生育状況

一部ヨトウ虫の発生もみられるが、大きな被害はない。現在の玉流れは 6 玉 3 割、8 玉 6 割でほぼ平年並み。

2. 出荷見通し

(1) 出荷時期

初出荷は 10/6 で昨年より 3 日遅い。

10 月下旬から 4 月中旬まで安定した出荷。ピークは 2 月～3 月で平年並み。

(2) 出荷量

10～4 月の共販総出荷見込み量は昨年の 11 万トンを超える可能性もある。共販計画は 11.5 万トンであるが今後の天候と 4 月の販売状況にもよる。

① 当面～12 月中旬期

早い物が雨により定植遅れとなっており、11 月上旬は平年よりも少なめの出荷。11 月下旬から 12 月中旬は平年よりやや増加する可能性あり。

② 年末～年明け

今後の天候により小玉になつたり、大玉になつたりするのでまだ予想がつかない。

③ 1 月～2 月

今後の天候により小玉になったり、大玉になったりするのでまだ予想がつかない。

④ 3月以降

今後の天候により小玉になったり、大玉になったりするのでまだ予想がつかない。

3. 販売対策

予約相対取引等契約的取引拡大。

愛知の野菜の取り組みの中で量販店を中心とした販売促進活動を例年通り展開。

加工・業務用販売の拡大。

4. その他

出荷容器のデザイン統一化に伴い、県下の統一目揃い会を12月3日に開催予定。